

わくわく



力をあわせて
よいしょ! よいしょ!

(涌谷南幼稚園
『平成さいごの大うんどうかい!』)

一年間の成果は.....	〈29年度決算〉	2
公金の紛失が発覚.....	〈決算審査特別委員会〉	7
名誉町民の推挙に同意.....	〈議案・補正〉	11
町政を問う5人の提言.....	〈一般質問〉	13
町民の声を紹介.....	〈キラキラVoice〉	20

確かないぶき

9月会議

決

算

へ重点配分 環境整備進める

平成 29 年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算総額

(万円未満省略)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計 決算総額	79億4066万円	78億298万円	1億3767万円
	歳入決算額	歳出決算額	差引額
特別会計 決算総額	52億3978万円	50億9633万円	1億4345万円

※差引額については、端数処理の関係上、数字が合わない場合があります。

万円



9月会議は9月6日から12日までの7日間（休会2日間含む）で開催され、教育委員会委員の任命同意など人事案件2件、報告3件、条例改正や平成30年度補正予算など、議案13件を原案どおり可決しました。一般質問には5人の議員が登壇し、9項目について町政をただしました。また、平成29年度各会計歳入歳出決算の認定について、議員全員による決算審査特別委員会を開催して審議を行い、すべての決算を認定しました。

安心・安全

防災マップ作成事業 決算額491万円

異常気象による土砂災害などに対して、災害危険区域や避難所などを町民に周知し、災害予防活動の推進を図った。

万円



原案可決		
同意	報告	議案
2件	3件	13件

認 定	
平成29年度決算	

一般質問	
5人・9項目	

平成29年度
決算

未来へつなげる

子どもの成長支えるまちづくり

議会注目事業の成果は

産業の振興

地域ブランド米創出事業補助金
決算額 242万円

「金のいぶき」の栽培マニュアルを確立して安定生産につなげるため、調査・研修に取り組んでいる。
玄米食を一般へ普及・定着させる取り組みや、流通・販売経路の新規開拓を期待する。



子育て・教育

子育て支援事業 決算額 1056万円

民間保育所を助成することにより、待機児童解消、多様化する保育ニーズに対応した。
涌谷保育園子育て支援センターは子育て親子の身近な相談所として、拠り所として機能した。



健康・福祉

障害者自立支援事業
決算額 2億7108万円

自立支援給付や補装具の支給、相談支援事業の強化により、障害者（児）が有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援を行った。



協働のまちづくり

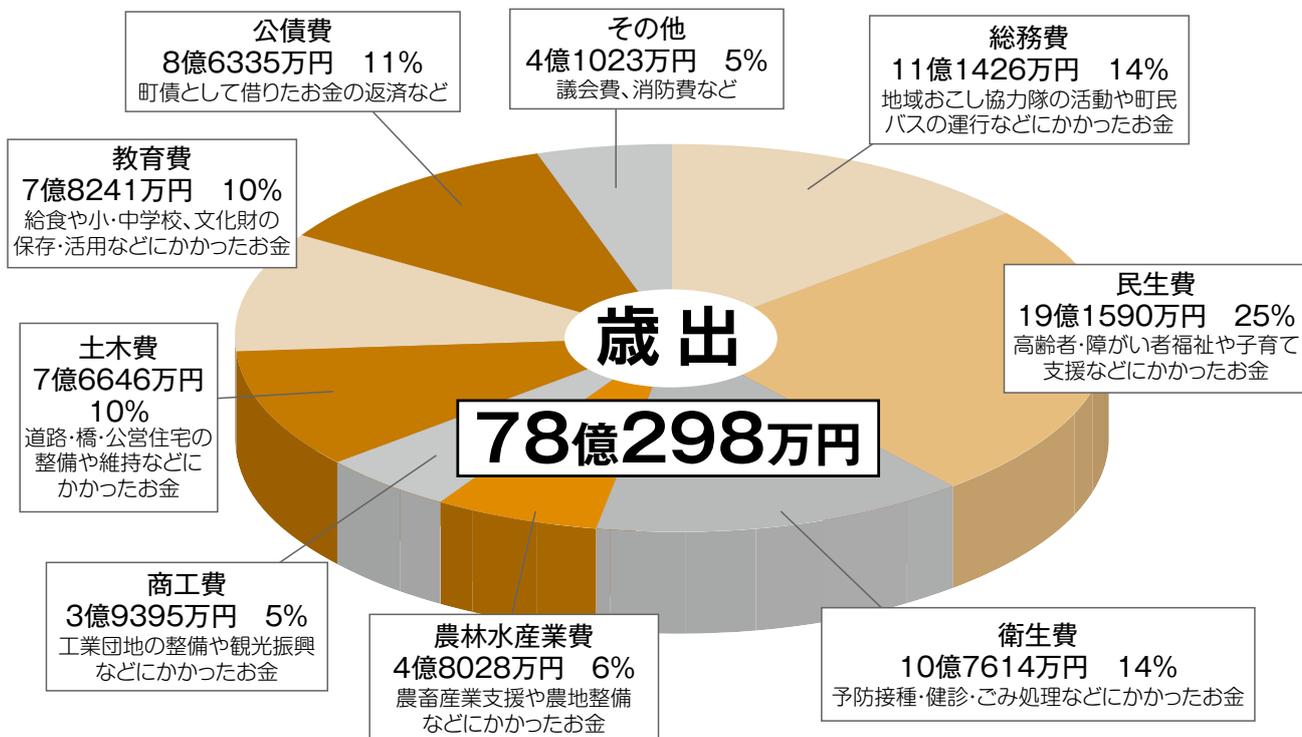
地域おこし協力隊事業 決算額754万円

「食」の分野では、地域の生産者と連携した着地型観光の実施や、農作物の販路開拓が行われた。
「観光」の分野では、隊員が有するノウハウによって、既存事業の活性化が図られた。



計歳入歳出決算の状況

昨年度に続き15億円を超える



※グラフの中の決算額については、整合性を取るために端数処理を行っています。

平成29年度特別会計及び企業会計決算

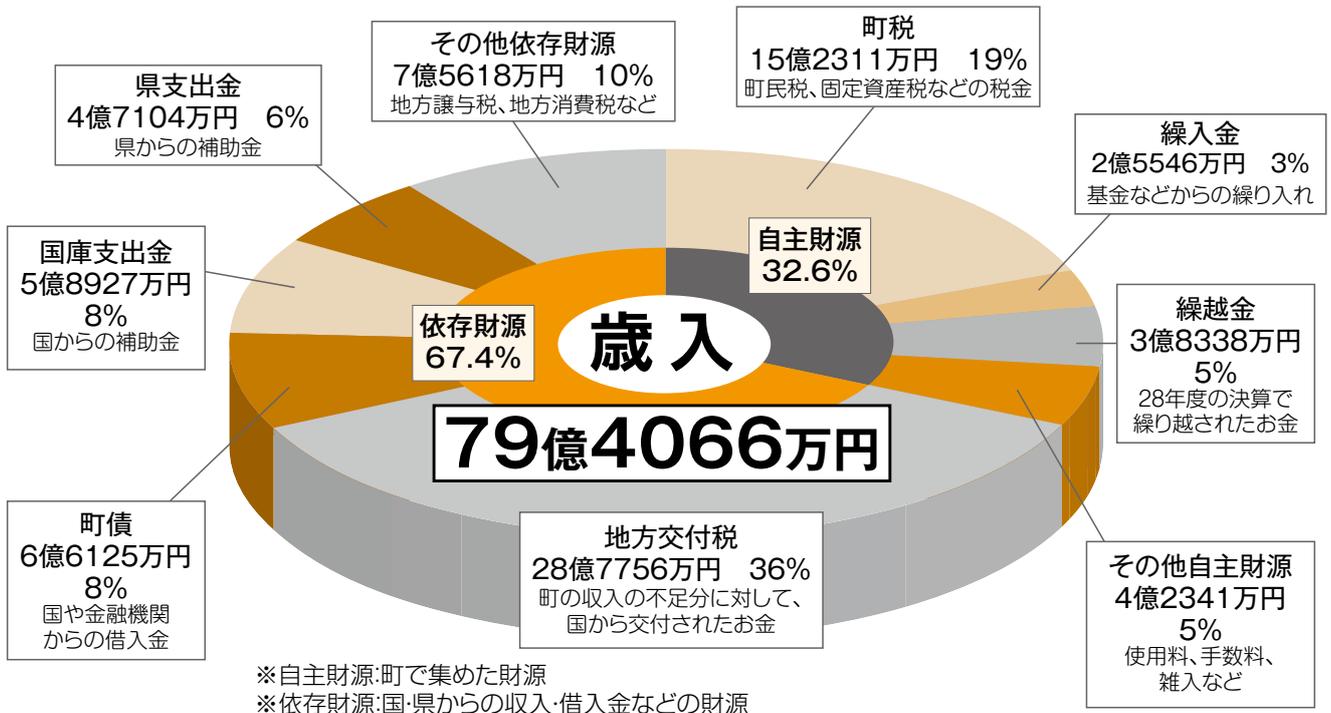
(万円未満省略・税抜き)

特別会計歳入歳出決算			
会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業勘定	26億 909万円	25億2211万円	8698万円
後期高齢者医療保険事業勘定	1億6792万円	1億6609万円	183万円
介護保険事業勘定	18億4420万円	18億1523万円	2896万円
宅地造成事業	669万円	669万円	0円
公共下水道事業	4億7446万円	4億6012万円	1434万円
農業集落排水事業	1億3740万円	1億2606万円	1133万円
企業会計収益的収入支出決算			
会計名	収入総額	支出総額	差引額
水道事業	4億1968万円	3億8562万円	3406万円
国民健康保険病院事業	20億4881万円	21億7007万円	▲1億2126万円
老人保健施設事業	4億9310万円	5億1495万円	▲2185万円
訪問看護ステーション事業	5797万円	5911万円	▲114万円

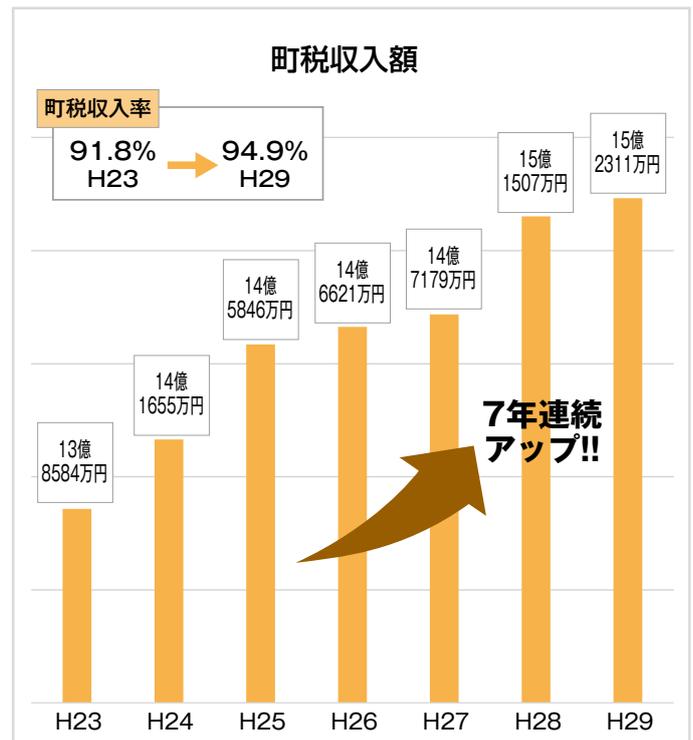
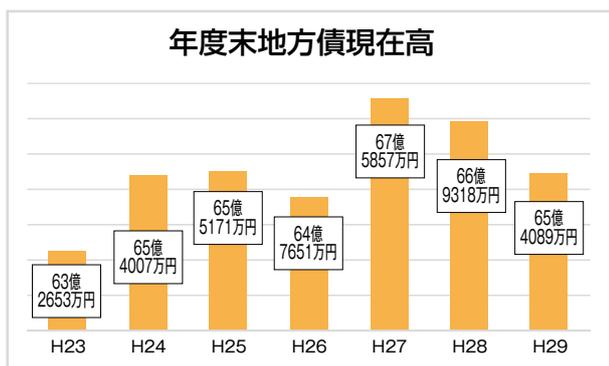
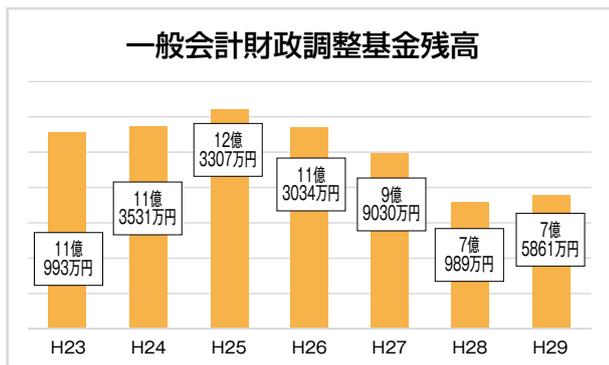
※差引額については、端数処理の関係上、数字が合わない場合があります。

(▲はマイナス)

町税収入は7年連続アップ



※繰入金及び繰越金の一部については、実質国庫支出金などであるため、その他依存財源に含まれています。



監査意見

事務処理及び
執行率ともに概ね適切

監査委員
後藤 洋一
遠藤 要之助

財政分析指標の
推移について

依然として

財政の硬直化続く

実質収支比率及び実質公債費比率を見ると、樂觀はできないが、比較的安定している。

経常収支比率においては、望ましいとされる75%以下を大きく上回る94.2%となっており、前年度の94.7%より改善はしたものの、依然として高止まりしており、財政が硬直化している状況にある。

行財政運営においては中長期の財政計画に基づいて運営されるべきであり、常に財政分析指数のチェックをし、健全で効率的な行財政の運営に努められるよう望む。

財政分析指標の推移

区分	27年度	28年度	29年度	備考
財政力指数(3か年)	0.35	0.36	0.37	1に近いほど財政力が強い
実質収支比率	3.9	5.7	2.7	3~5程度が望ましい
経常収支比率	96.9	94.7	94.2	75以下が望ましい
実質公債費比率(3か年)	10.1	11.4	12.6	

一般会計及び
各種特別会計について

① 不用額については、各課において更なる予算管理の徹底を

各会計の事務処理及び執行率ともに概ね適切に処理されている。昨年同様、件数は減少しており、適切な処理の結果と評価するが、各課における予算管理の徹底を望む。

② 指定管理施設

適正管理に努力を

本年度は、指定管理者制度を適用している施設の協定更改年度であった。かつて指摘したことであるが、制度適用が適切なのか疑問を持たざるを得ない施設が数カ所あった。それぞれ検討がなされ、選定委員会においても検討され、現状に落ち着いたことが確認された。今後は適宜業務量などをモニタリングし、適正管理に努力されたい。

国民健康保険
病院事業会計

① 病院改革プランの数値目標の見直し

収支目標達成に向け更なる努力を望むとともに、改革プランの数値の修正を含む、より実態に即した目標設定を。

② 入院・外来ともに目標患者数確保のため、院内挙げての重要検討課題とすること

③ 救急車、救急患者の積極的な受け入れ

年間受入数を平成24年度と比較すると、約4割減少している。病院経営上大きな影響を与えていると思われるので、改善に向けて深い検討を望む。

④ 基準外繰り入れの協議は、内容を記録すること

一般会計からの基準外の繰り入れなどに関係する協議内容について、事務レベル、政治レベルともに記録すべきである。昨年度も同様の指摘をしたが、その改善が見えなかったため、実現のための検討を強く望む。

監査委員への質疑

問 公有財産の売り払いについて、努力の跡が見えるとはどういうことか。

答 落札はされなかったが、旧小里幼稚園などが、数カ所を公売にかけている。将来にも利用が考えられないような資産は、優先的に措置しようとしている姿勢が見られた。

問 救急車・救急患者の受け入れについて、改善に向けて深い検討を望むとあるが。

答 昨年度も同様の指摘をしており、医療センターでは検討を行ったようであるが、改善は見られないので、通常以上の検討を期待する。

採算面だけを考えれば経営に貢献している部門ではないが、少々の困難は超えてでも、この事業は維持してほしい。廃止に向けた考えではなく、さらに充実されるべく検討してほしい。



門田 善則 委員長

決算審査特別委員会

平成 29 年度の各会計決算について、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月10、11日の2日間で審査を行いました。

主な質疑と答弁を掲載します。

公金の紛失が発覚 警察に被害届提出

平成29年度に2回 計31万1千円

議会への報告なし
決算審査特別委員会の中で、議員が「29年度に町民が納めた税金が役場で紛失したとの噂を聞いたが事実か」との質疑を行った際、町当局が事実であることを認めた。今回の質疑に答えるまでの間、議会への相談や報告は一切なかった。

事件の概要と町の対応
平成29年7月3日に町民から納入された14万円と、平成30年3月6日に納入された17万1千円を紛失したものの。

29年7月の14万円については、現金をもらい忘れた可能性もあったため、会計課所有のお金と合わせ、職員が立て替えを行った。30年3月の17万1千円については、納入者におつりを渡していることもあり、あまりにも不自然に現金が紛失していたため、2件について警察に被害届を提出した。警察では現在も捜査中とのことである。

平成29年度決算における町の処理

決算は現金に基づいて作成しているため、29年7月の14万円は収入済みとし、30年3月の17万1千円については、警察で捜査中であるので未収として処理を行った。

(議会の対応、10月会議については19ページを参照)

一般会計決算

総括質疑

久 勉 委員

**監査委員の指摘
業務改善につなげて**

問 監査報告の中で、不適切な処理が1件、検討・努力をするよう指摘しているものが14件あり、昨年度と同じ指摘を受けているところもあるが。

また、法人税収入が28%も減少した原因は。

答 監査報告を真摯に受け止め、再度精査し、次年度の予算編成に反映させる。

28年度は業績が好調で、法人税の予定納税をしていた企業が、29年度は業績不振で赤字決算となった。多く納め過ぎた税金を返納したことにより、減少額が大きくなった。

歳入

杉浦 謙一 委員

貸付金の償還は被災者に寄り添った対応を

問 災害援護資金貸付金の償還金が未収となっているが、理由は。

答 貸付対象者は5名いるが、破産された方や生活保護の方については、執行猶予として10年間の据え置き期間がある。

佐々木 敏雄 委員

**納税された現金の紛失
決算書上の扱いは**

問 町民が納入した税金の一部を紛失したと聞いたが、決算の処理はどう行ったのか。

また、再発防止策は。

答 警察に被害届を提出したこと、未収扱いとしたことから、未収扱いと見做して処理したい。

再発防止策として、税金の納入時には常に2人で対応することにした。

歳出 総務費

佐々木 敏雄 委員

現地確認不能の土地とは

問 普通財産の中で、現地確認不能の土地は、町の財産として決算に計上する必要はないのでしょうか。

答 税務台帳には記載されており、確認できしだい公会計に計上するもの。

農林水産業費

大友 啓一 委員

金のいぶき 販売促進を

問 首都圏の米店や秋保温泉組合への個別営業、インターネットによる販売やPR活動の取り組み成果は。

答 販売実績は全体で約5800袋(460g入り)で、今後も販売を強化して首都圏などをターゲットに実績を伸ばしていきたい。

土木費

佐々木みさ子 委員

災害に万全の備えを

問 木造住宅耐震化関連事業に対して、助成件数を多くすべきでは。

答 国、県からも積極的に事業展開していくように指導されており、現在、対象世帯に耐震診断の案内を行っている。

大友 啓一 委員

街路灯 町で管理を

問 商店街の街路灯は老朽化しており、各商店会では維持管理に負担を感じている。今後の維持管理についての協議は。

答 29年度は5回ほど情報交換の場を設けた。防犯の意味合いもあることから、補助金の増額も含めた協議を早めに行っていく。

只野 順 委員

政策空き家を解体し若者向け住宅の建設を

問 政策空き家は積極的に解体を進め、若者向け住宅など、若者の住みやすいまちづくりとして整備してはどうか。

答 一本柳・淡島住宅の住民の方にアンケート調査を行っており、それも踏まえて今後の町営住宅の管理に努めていく。

教育費

鈴木 英雅 委員

町独自の学力向上事業として

問 夏・冬休みに、パワーアップ教室を小中学生を対象に開催しているが、参加者数の実績は。

答 3会場で、延べ1000人以上の児童生徒が参加している。学習する習慣を身につけることを目的として行っている。

鈴木 英雅 委員

中学生海外派遣研修の今後は

問 中学生海外派遣研修の代わりに、イングリッシュキャンプ事業を今年度から行ったが、今後、海外派遣研修はどうするのか。

答 イングリッシュキャンプの継続を主に考えているが、アメリカのサリナスの子どもたちを招き、交流することなども考えられる。



8月のイングリッシュキャンプの様子からニッコリ笑顔であいさつ



8月のイングリッシュキャンプの様子から課題についてみんなで考えます

社会教育費

杉浦 謙一 委員

計画的な図書整備を

問 公民館図書室整備事業の成果は。図書の充実に関してはどうか。

答 図書については、現在、約1万2千冊あり、あと2万冊入るので、ベストセラーを中心に購入し、町民の期待に応えられるよう対応したい。

久 勉 委員

交流人口の

増加につなげて

問 町の伝統芸能である古式獅子舞を、涌谷に縁のある京都の愛宕神社や千葉の千葉神社などへ出かけて披露することは、交流人口の増加につながるのでは。

答 現地に出向いて披露することも検討していく。

稲葉 定 委員

町の文化財

管理徹底を

問 追戸横穴歴史公園の管理はどのように行っているのか。補修などをすべきではないか。

答 地域の方々にも協力してもらい管理している。今後見回りを徹底して整備していく。

只野 順 委員

「金のいぶきマラソン」

の開催を

問 毎年、町で開催しているクロスカントリー大会を、新たに「金のいぶきマラソン大会」としてはどうか。金のいぶきを参加賞として配り、消費の拡大と、町の宣伝としては。

答 大会の見直しをしながら、大会名の変更については実行委員会へ提案をしていきたい。

国民健康保険事業 勘定特別会計決算

稲葉 定 委員

受診率を上げて 健康づくりにつなげて

問 特定健診や人間ドックの受診率が低すぎるが、理由は把握しているのか。

答 さまざまな取り組みを行い、受診を勧奨している。受診率については受診対象者のとらえ方が正確でない可能性もあるので、ほかの医療機関で健診を受診している人を外すなど、対象者の把握に努める。

国民健康保険 病院事業会計決算

竹中 弘光 委員

医師の確保に努力を

問 今後の医師の確保についての対策は。

答 昨年度までは、前センター長のネットワーク頼みであった。今後は、自治医科大学や県に対応を依頼し、また、現センター長のネットワークを使いながら、できる限りの対策を図っていく。



楽しみ方は人それぞれ クロスカントリー大会は今年度も開催予定です

決算審査

討論

後期高齢者医療保険
事業勘定特別会計決算

賛成 久 勉 議員

認知症リスク調査
事業継続を

認知症のリスク調査事業は、何らかの疾病を持っていてる場合はかなり高い確率で発見できるので、継続を望む。

介護認定率を見ると、全国が18・0%、宮城県が18・4%、涌谷町は17・0%である。この数値から、今までやってきた保健活動と併せて、町独自の事業を展開することによって、介護にかかる費用を少なくすることができるということであり、町民にとって非常に喜ばしいことである。

今後も、事業を継続し、町民の健康を守る、健康づくり、介護予防に力を投入していただきたいと思いい、賛成とする。

9月会議採決状況 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	大友啓一	只野順	後藤洋一	久勉	杉浦謙一	門田善則	大泉治	鈴木英雅	遠藤釈雄
平成29年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議長

討論

平成29年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について

賛成 竹中弘光 議員 財政厳しい中、概ね成果

町税の表記の方法には不都合があり、承服できかねる部分があるが、各事業としては、子育て支援に重点をおき、乳幼児の急性重症胃腸炎を防ぐロタウイルスワクチン接種費用の全額助成、また、就学援助交付金や、第三子小学校入学祝金の新設及び、子ども医療費助成事業において、15歳から18歳まで無料化し、さらに、所得制限を撤廃するなど、子どもの成長を支えるまちづくりを推進している。道路整備など環境対策には若干の物足りなさは感じるが、財政状況の厳しい中、概ね成果を出しており、賛成とする。

反対 佐々木敏雄 議員 危機管理意識全くない

公金紛失を納税者に転嫁し、納税をしていないように未収処理した決算に強い憤りを感じる。納税者を無視した、公僕という立場を逸脱した身勝手な行為である。複数回の公金紛失に、全く危機管理意識が感じられない。

早急に再発防止を図り、現金管理の改善策、あるいはマニュアルなどの見直し、防犯対策の徹底、そして全職員への指導徹底を行うなど、早く信頼の回復に努めるべきである。

町税の一部が決算書に反映されていない決算には反対である。

賛成 久 勉 議員 各事業着実に前進

町長就任時の所信表明から、子育て支援として、おむつ・学級費の負担軽減、子ども医療費の拡大、預かり保育の拡大、幼稚園サービスの均等化、学童保育への取り組みなど。保健・医療・福祉・介護のさらなる充実として、認知症対策・介護予防の施策など。農・商工業の振興として、金のいぶきの定着化、工業団地の整備、日本遺産の申請、東大寺サミット・千葉氏サミットへの積極参加、伊達安芸公350年祭の準備など、着実に邁進していることを確認できるので、賛成とする。

反対 稲葉 定 議員 町民軽視 承服できぬ

決算の金額は確定値であり、決算書に作為があるなどは言語道断である。それが正しい金額、科目に示されていないなら審議が意味をなさない。このことは議会軽視であり、町民軽視でもある。

到底承服できるものではなく、議員としての本分を自ら捨てることはできないので、本案には反対する。

議案

議案第54号

議案 議案第54号 涌谷町名誉町民の推挙に ついて

賛成全員で可決

久道茂氏は涌谷町出身で、東北大学卒業後、昭和56年に東北大学医学部教授に就任しました。その後、医学部長時代には、主要ながん検診について、科学的根拠に基づいた検診の有効性を明らかにし、日本におけるが



久道 茂 氏

ん検診の方向性に明確な指針を示しました。涌谷町においても、国が進める地域包括ケアシステムに先駆けて目指した「町民医療福祉センターシステム構想」の実現に当たって、東北大学教授としての高い見識からの指導・助言を行い、町の最重要課題であった病院問題の解決や、疾病予防のためのさまざまな健康づくり事業など、町民の健康保持と保健・福祉の向上に大きく寄与されました。

(名譽町民推戴式を10月23日に実施。)

議案・補正

平成30年度 補正予算審議

小規模保育事業所整備補助金	1124万円
待機児童ゼロの実現のため涌谷修紅幼稚園の小規模保育事業所（認可）移行を支援する。認可をとるために調理室、調理設備を整備するもの。	
佐々木家住宅関連委託料	254万円
佐々木家住宅の植栽管理や、機械警備機器の設置、機械警備に要する委託料。	

人事案件2件に
賛成全員で同意



固定資産評価審査委員会委員
相馬 秀夫 氏



教育委員会委員
男澤 純子 氏

小規模保育事業所 整備補助金について

問 民間の無認可保育施設に補助を出して認可保育園にするのではなく、さくらんぼこども園の保育園部門で預かる子どもを増やせないか。

答 0～2歳児を多く預かるには、保育士確保の難しさや、保育する部屋の改修が必要になる。現在ある施設を有効に活用したいので、民間の力を借りたいと考えている。

調理室の整備 必要か

問 新たに認可する予定の施設は、20人ほどの子どもを預かるとのことであるが、調理室を整備する必要はあるのか。

答 小規模保育所の認可基準に、給食については、調理設備が必要と明記されている。

実施場所に研修館を 選定した理由は

問 心のケアハウス事業が研修館を拠点に始まったが、場所の調整などどのような行なったのか。

答 心のケアハウス事業の対象は不登校の児童生徒である。場所の選定については、公共施設であることと、町民バスが必ず止まるところを考え、決定した。

寄附された佐々木邸の 利活用の考えは

問 町の文化財である佐々木邸の寄附を受けたが、今後の利活用は。管理に年間どれぐらいの経費がかかるのか。

答 歴史的な建物を活用した地域の活性化や、観光まちづくりの方策の一つとして活用を考えている。経費としては、植栽管理や除草作業に年間150万円ほどかかる見込みである。

教育厚生常任委員会

6/26
6/27

県北6町議会議員が一堂に会し交流を深める

先進地に学ぶ 視察研修レポート

秋田県横手市
～学力向上はことばの力から～



横手市内の中学生が選んだおすすめの本100選



6月の1カ月間の読書量は全校で1万6000冊以上！

視察地

横手市教育委員会

目的

学力向上の
取り組みについて

秋田県は、文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査において、例年全国平均を大きく上回った結果を出しており、トップレベルの学力と評価されている。

主な取り組み

- ① 指導主事による学校訪問
市の指導主事6人が、年間120回程度の学校訪問を実施。
- ② 言語活動の充実による
学力向上推進事業
市独自の学力向上プラン。学校図書館の有効活用及びNIEの推進や、小・中連携による9年間を見通した指導の推進を図る。
- ③ 教育専門監の活用
教員の指導や授業の改善に関わる。

視察地

市立大森病院

目的

① 病院経営に係る数値目標達成に向けた具体的な取り組みについて

② 地域包括ケアシステムの構築について

市立大森病院は、一定の急性期を担いつつ回復期及び慢性期のケアミックス型病院としての役割を明確化している。また、地域包括医療・ケアの実践のため、地域のニーズに応えた特徴ある各種医療サービスの提供にも積極的に取り組んでいる。

④ 特別支援教育の充実
特別支援教育専任指導主事の配置。

⑤ ふるさと教育
郷土学総合テキスト「よこてだいすき」を発行し、各小・中学校に配布し、授業などで副教材として活用。



興味深い次期総理の話も…

10月10日(水)に、県北地方町議会議長会主催による第11回県北地方町議会議員研修会が南三陸町で開催され、涌谷町議会も議員全員が参加しました。

講師で評論家(内外情勢、国旗・国家、オリンピック、領土問題の専門家)の吹浦忠正氏は、「国際情勢と今後の日本の行方」と題した講演の中で、「国民の政治への無関心が続くと、確実に国は滅びる」と講話されました。

※NIE…学校などで新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げる取り組み。

ズバリ

9月会議では、9月6日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木敏雄 議員 (14 ページ)

- 1 猛暑対策としてのエアコン設置について
- 2 都市公園の検討結果と新下町浦雨水貯水池の調査結果について

久 勉 議員 (15 ページ)

- 1 平成31年度当初予算の編成方針は
- 2 脳ドックの新設を

稲葉 定 議員 (16 ページ)

- 1 籠岳山の観光開発について再度問う
- 2 各小中学校の課外活動の成果は

竹中 弘光 議員 (17 ページ)

- 1 駅南地域の環境整備について

杉浦 謙一 議員 (18 ページ)

- 1 教育施設での環境改善についての考えは
- 2 放射能汚染廃棄物の焼却処分について考えは

問

低所得世帯に エアコンの設置助成をすべきだ



答

生命にかかわる状況ではなく、
必要性は高くない

佐々木敏雄 議員



問

今年是全国各地で
気温が40度を超え、
熱中症死亡者も過去最高
となる気象災害であった。
エアコンのない世帯の生
活は大変である。せめて
経済的な面でエアコンの
設置が難しい低所得世帯
に、エアコンの設置助成
をすべきではないか。

町長

関東・西日本に
比べれば生命に
かわかる状態ではないの
で、エアコン設置助成の
必要性は低い。生活保護
世帯に5万円を上限に助
成する、国の制度もある。

問

小・中学校では、
気温35度を超すよ
うな教室で学習をしてい
るのが現状である。

学習環境の改善も行政
の大きな務めではないか
早急に小・中学校の教室
にエアコンを設置すべき
時機にきていると思うが。

町長

校舎の老朽化が
進んでいる。費
用対効果や、より有利な
事業を検討していく。

問

都市公園設置の検討結果は

答

課題の解決が必要であり
時間がほしい

問

西地区水害避難場
所として、涌谷公
民館、涌谷スタジアム周
辺一帯を丘陵化し、バイ
パスを通じて健康パーク
への避難路を確保するよ
うな整備を行うことが必
要と考える。

町長

大崎広域都市計
画や町の都市計
画との関連と、諸課題の
解決が必要であり、時間
がほしい。

問

台風が到来する時
期であり、新下町
浦雨水調整池が、また機
能しないのではないか。

町長

調整池に、より
早い段階で雨水
の一部を流入させるため、
越流堰に穴をあけ、また、
ゲートを撤去し流入障害
を解消した。今後も検証
していく。



エアコンを設置し、子どもたちが学習に集中できる環境整備を



越流堰の壁に穴をあけ、流入量をふやした



ゴミが堆積する要因になっていたゲートを撤去

一般質問

問 脳ドックの実施を

答 調査事業の結果を踏まえた対策を行っていく

問 脳ドック実施による異常の早期発見により、寝たきり予防、あるいは要介護老人の減少によって、医療費・介護費用の削減に寄与すると思われるので、ぜひ実施すべきではないか。

町長 平成26年度から東北大学と共同で、認知症リスク調査事業を実施しており、中間報告では調査対象者の69%に脳梗塞の所見が認められ、軽度認知機能障害対象者の75%が脳血管性によるものと判断された。

脳ドックだけでは認知症の判定をするのに不十分であり、調査事業の結果を踏まえた認知症対策を行っていくことが肝要と考えている。



国保病院にある設備を有効活用し、町民の健康保持へつなげたい

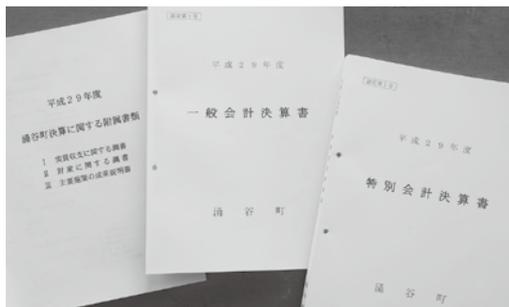
問 平成31年度の当初予算の編成方針は、平成29年度の決算状況を精査し、当初予算に反映すべきでは。

町長 基本的な方針として、

- ①財源の確保のための経費の見直し
- ②行政改革推進計画の着実な推進
- ③各課の重点事業を明確にし、めり張りのある予算要求
- ④事業費のしつかりとした財源組み立てなどを行うよう指示を出した。

問 スクラップアンドビルド^{*}と言われる久しいが、何を重要課題として予算編成したのか、町民にわかるような予算を。

町長 これまでも補助制度の見直しや、事業効果を見て継続すべきか検討してきた。補助の削減については、議会にも相談・協力をお願いしていく。



決算をしっかりと分析し、予算編成に反映を

問 平成31年度予算の編成方針は

答 経費の見直しと財源の確保を徹底する



久 勉 議員



^{*}スクラップアンドビルド…採算や効率の悪い部門を整理し、新たな部門を設けること。

問

「寛文の鐘」の展示施設は



稲葉 定 議員



答

建設経費の2分の1を助成する

問 「寛文の鐘」の展示施設はどうするのか。

町長 寛文の鐘は、寛文寺が新たに鐘楼を建立して

保存する。町としては、文化財保護基準に基づき、建設経費の2分の1を助成することを考えている。

問 旧牧場会館の今後の利用計画は。

町長 老朽化しており、そのまま使用するのには難しい。周辺の石仏広場などと一体的な整備を進めていく。

問 籠岳山で唯一宿泊と食事を提供していた民間の施設の営業形態が変更となり、宿泊や大人数での食事ができなくなった。

観光客を誘致するに当たり、非常に痛手となるがどう考えるか。

町長 施設には、宮城から改善指示が出されたものである。

町としては今後も、民間のホテルなどが進出してこられるような条件整備に努める。

問 学校の課外活動の成果は

答 豊かな経験となり、地域との交流が生まれる

問 各小中学校の課外活動について、ねらいと課題は。また、成果は。

成果は評価できる。今後、長い取り組みが必要と思うが。

教育長 第一小のマーチングバンド、

月将館小のお茶屋節、籠岳白山小の籠岳よさこい、涌中の白山豊年踊りなど各校特色ある活動を行っている。これらの活動を通して、子どもたちが豊かな経験をし、地域との交流が生まれるなど、大変意義のある活動である。課題は教師の多忙化や外部指導者の確保、活動経費の保護者の負担増などがある。

各校の課外活動や取り組みの成果は向上しており、特に涌中3年生が修学旅行の際に上野公園で披露した白山豊年踊りは大好評を得た。

教育長 長く続けることで伝統ができてくると考えているので、教育委員会が中心になって課題を解決していきたい。



天下の名鐘と言われる寛文の鐘

一般質問



環境整備を着実に進めていくよう、町長にリーダーシップを発揮してもらいたい

問 田町裏地域の通学路の側溝整備を早急にできないか。

町長 用水量の調整などにより、随時冠水防止対策を講じているが、状況の変化を見ながら、必要に応じ、道路のかさ上げや側溝の布設替えなどを行うことを考えている。

問 公民館前の排水路の整備はいつ頃になるか。

町長 現在、喫緊の課題であるJ Aみどりの涌谷支店前などの浸水被害の解消を重点的に進めており、この路線の完成後に公民館前の排水路を整備するが、測量など、事前準備のできる部分から鋭意進めていく。水路の整備だけでなく、並走する県道涌谷田尻線の歩道整備と併せ実施する計画であり、関係機関と調整を図りながら進めていく。

問 下築街道踏切の拡幅と歩道の設置を。また、線路沿いの雑草などの処理については、町長自らが関係機関に出向き、要望することが環境整備につながるのではないか。

町長 「県道涌谷田尻線改修促進協議会」を通し、宮城県に対して整備の要望活動を行ってきたが、JR東日本との踏切統廃合の調整や多額の負担金を伴うことなどにより、実現できていない。

排水路整備の構想を示しながらJRと協議を続けているが、通行する歩行者の安全を確保するとともに、周辺の環境整備のためにも関係地区、機関に引き続き要望活動を続けていく。線路沿いの環境整備については以前から要望しており、関係機関から予算の確保ができないとの回答もあるが、今後とも粘り強く要望していく。

一般質問

問 公民館前の排水路の整備時期は

答 現在整備中の路線の完成後を予定している



竹中弘光 議員



問

教育施設にエアコン設置の考えは



杉浦謙一 議員



答

有利な事業を検討していく



猛暑の中、窓も開けられないのは厳しい

問

平成28年12月に策定した涌谷町公共施設等総合管理計画は、教育施設においてはどのような計画か。

教育長

計画的に効率よく公共施設の整備や維持管理を行い、施設の長寿命化を図ることとしている。

また、平成27年3月、文部科学省よりインフラ長寿命化計画の行動計画が示され、平成32年までに個別計画を策定するよう通知が来ており、教育委員会としては、来年度に委託費の計上を検討しているところである。

問

学校施設環境改善交付金を活用してのエアコン設置の考えは。

教育長

より有利な事業を検討していきたい。

問

職員室にもエアコンはないが、教職員の仕事の能率低下はないか。

教育総務課長

窓には網戸がなく、夜間は虫が入るので窓を閉め切って業務を行っている。職員室の環境改善を図らねばと考えている。

問

農林業系廃棄物 今後の焼却に変更はないか

答

混焼により減容化、 安定化した上で管理する

問

9月2日(日)に農林業系廃棄物試験焼却方法の住民説明会が開催された。参加者は22人で、質問者・発言者は不安や反対の声が多く、賛成の声はなかった。今後の焼却に変更はないのか。

問

反対している議員が複数いるのにもかかわらず、議会での同意が得られていると口にする根拠は。

町長

議会全員協議会での説明で、議員からの異論がなかったことによる。

町長

通常の処理方法で安全に処理できる8000ベクレル以下の廃棄物については、一刻も早く処理する必要がある。混焼により減容化、安定化した上で管理していくことが望ましいと考えている。



試験焼却の実施はいつ？

一般質問

10月 会議

公金紛失にともない 「決算の再認定議案と関連予算の 減額を求める意見書を提出」 「事件の全容解明、再発防止策の 調査究明を行う調査特別委員会を設置」

先の9月会議の中で発覚した、町の公金紛失事件を受けて、急ぎよ、10月22日に10月会議を開催しました。涌谷町議会としても、不備のある決算を認定したことは誤りであったと認めたと上で、今後の町政運営の糧とするためにも、町に対して修正した決算の再認定を求める意見書を提出し、事件の全容解明と再発防止策の究明を行う調査特別委員会を設置しました。

決算が認定されるまでの

経緯

9月会議の中で、平成29年度各会計の決算認定議案について、決算審査特別委員会を設置し審査を行ったが、公金を紛失した事実を町当局から報告され、議会運営委員会を開催し協議を行った。

議会運営委員会においては、決算認定議案の内容を検討するため町当局から説明を求め、間違いがないとの回答を受けて、決算審査特別委員会並びに本会議において賛成多数で認定した。

町の説明に納得できぬ

その後、議会運営委員会の際に町当局が行った説明には齟齬があり、結果として決算認定議案に誤りがあったことが判明した。

涌谷町長に決算認定議案の誤りを踏まえ、猛省を求めるとともに、修正し決算の再認定を行い、決算に係る既決補正予算の減額を行うことを求める意見書

公金紛失の事実を精査する中で、その説明に誤りがあり、収納したとする公金を収入未済額に計上し、作成した決算書の内容は誤りである。このことから、町当局は決算審査の重要性を再認識し、速やかに修正を行うことが必要と考える。

また、決算の修正にともない、決算書に係る未収金処分を目的とした既決補正予算の速やかなる減額補正を同時に行い、町民の町当局に対する不信を払拭することが必要と考える。

討論

賛成 佐々木敏雄議員

公金紛失の会計処理において、納税された金額を納税されていないとして処理（未収金処理）を行った行為は、公務員としてあるまじき、恣意的な行為である。

瑕疵ある決算書を提案しているにも関わらず、執行部では何ら反省の色もなく、逆に関連の事務処理には何ら問題がない旨の見解であるとの風聞もある。理解できず、根拠を示すべきであり、意見書提出には賛成である。

賛成全員で可決

よって、涌谷町議会は、自らも猛省しながら、町当局に対し今回の決算認定議案の誤りの重大性を深く認識し、猛省を求めるとともに、決算書を速やかに修正のうえ、決算再認定の手續を行うとともに、決算に係る既決補正予算の減額を行うことを強く求める。

「公金紛失及び不適切な事務処理に関する調査特別委員会」を設置

目的

平成29年度において発生した公金紛失について、未だ町当局から説明がなく、事務処理についても誤りが指摘されており、こうした対応の遅れは議員をはじめ、多くの町民の疑念、疑惑を招き、町政に対する信頼を大きく損ねている。

町民の付託を受け、執行機関を監視する議会として、事件の全容、また町側の対応の遅れについて調査究明し、再発防止策について調査することを目的とする。

構成

議長を除く全議員

委員長 鈴木英雅副議長
副委員長 大泉 治議員

特別委員会小委員会

委員長 大泉 治議員
副委員長 佐々木敏雄議員



相澤 良さん
(11区)

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

キラキラ

vol.6

Voice

Q あなたのことを教えてください。

A 10代の頃はサッカーに夢を抱き、単身でブラジルへ渡航し、社会人リーグで活動してきました。

現在は、総合建設業として、8年前に株式会社 良光を設立し、周りの人たちに支えられながら被災地復興に携わっています。地域を盛り上げる力になればと、商工会青年部でも活動しています。

Q 議会についてどうお考えですか。

A 住みやすいまちづくりのため、町民一人一人の声に耳を傾け、町民の考えが反映できるよう、議会での議論を期待します。実現可能な施策を一つ一つ確実に実施してもらいたいと思います。

Q 涌谷町をどうお考えですか。

A 1歳になる子どももいますので、安心して子育てができ、住みやすく、人が集まる活気のあるまちづくりを望みます。私も微力ながら、できる限り協力していきたいと思っています。

議会から

議会への貴重なご意見ありがとうございます。

住民の代表である議員によって構成される議会が、住民の声をなおりにするには、あつてはならないことだと考えています。

より良いまちづくりのため、皆様の意見を更に町政に反映させることができよう努めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

11月4日(日)開催の議会懇談会にも、ぜひおこしください。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

12月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配布の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43-2127

一般質問を 動画配信しています。



当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。

編集ろまん だより

今年には災害の多い年であった。その猛威は破壊的であり、最大級、想定外の勢力といわれる災害であった。

これまで、我が国の風習として、山の神、海の神、天の神を祭り、人間がかなわない自然の力を鎮めるために、お祈りやお参りをし、神々をあがめてきた。

【海】【空】をないがしろにしているのではないだろうか。山は荒れ放題。海はプラスチック類で汚れ放題。空は二酸化炭素などが増え放題。神々は安穩できる所がなくなり、居場所を見つけるために、さまざまおられるのではないだろうか。

人間本位の開発で自然を破壊した分、自然災害として我々にふりかかってきているのではないだろうか。人間一強になり過ぎたのだろうか。

(佐々木 敏雄)

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長 只野 順

副分科会長 竹中 弘光

委員 鈴木 英雅

委員 稲葉 定

委員 佐々木 みさ子

委員 佐々木 敏雄